

令和5年度



宝仙学園高等学校女子部
こども教育コース

作文

(解答はすべて解答用紙に書きなさい)

2023年2月10日(金)

受験番号	出身中学校	ふりがな	
	中学校	氏名	

【諸注意】

- ・ 題名は必要ありません。最初の行から書き始めること。
- ・ 最初の行の最初の 1 マスを空け、原稿用紙の使い方のルールに従って書くこと。
- ・ 句読点や記号もそれぞれ字数に数えること。

2023 年度生徒募集から、本校はコース名を「保育コース」から「こども教育コース」に変更した。このことについての次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

新たな「こども教育コース」では“Challenge から Change へ”というスローガンを掲げ、多様な生徒が様々な経験に“challenge”することで“change”して欲しいという想いを込めた。

日本ではよく「頑張ってチャレンジしてみよう」「この冬はスノーボードにチャレンジしたい」などというように、“challenge”は「挑戦する」や「頑張る」とことと解釈されることが多いが、英語圏では“challenge”の意味はやや異なり、もっと重い。

英文では“challenge”を名詞として使う場合、それは「難問」「困難な課題」と訳されることが多く、「危険で不可能に近いこと」のような意味も含む。また動詞では「異議を申し立てる」や「挑発する」という意味で使われ、例えばスポーツの試合で審判の判定に対して異議申し立てをする際にも“challenge”という言葉が使われる。

現代の日本を含めた世界は、多くの難問や困難な課題を抱えている。社会のあり方にただ従うだけでなく、ときには私たちが社会に対して「そのままでいいのか」と異議を申し立てることも必要である。

私たちが生きる現代社会は「予測困難な社会」といわれている。このような社会で生きていくことは、まさに日々が“challenge”となる。

問1 傍線部の例として、「こどもの権利」をとりあげたい。現在は日本を含めた 196 の国と地域とで「こどもの権利条約」が共通の約束事として定められているが、日本社会ではしっかりとこどもの権利が守られているとはいえない状況にある。

次の①～④の「こどもの権利」のうち、あなたが今の日本で「守られていない」と特に考えるものを 1 つ選び、選んだ理由を 200 字以内で説明しなさい。あなた自身がこれまで経験したことや見聞きしたことを具体的に挙げて説明すること。

- ① 身体的または精神的な暴力を受けないこと。
- ② 家庭の環境や状況、社会的身分、国籍、人種、民族、文化、障害の有無、性別などでの差別を受けないこと。
- ③ 自分に関わるあらゆる事柄について、自由に意見を表明すること。
- ④ 年齢にふさわしい遊びやレクリエーション活動、文化的活動をすること。そのために必要な環境が整えられること。

問2 あなた自身が抱える「難問」や「困難な課題」を述べたうえで、高校 3 年間でそれに対してどのように取り組んで成長していきたいか、具体例も挙げながら 400 字以内で説明しなさい。